

「MM 活動で環境保全と未来の乗客獲得を」

伊丹市交通局

伊丹市は市域の8割が鉄道空白地帯となっており、バスが住民の移動手段として重要な役割を担っています。そのような地域特性の中で交通事業を行うためには、住民とのコミュニケーションが大切であるとの考えから、伊丹市交通局では、MM活動の一環として小学校低学年の児童を対象とした出前講座を行っています。

講座内容は、バス車両と軽トラックの大きさ比べ、タイヤやミラーの数の違い、ニーリングや扉の安全装置、車内外マイクの紹介、バスに乗車する際のマナー、バス乗車体験などで、まず市バスを身近な乗り物として感じていただくことを目的としたプログラムとなっております。

特に、実際に運賃を支払ってバスに乗車する体験では、「慣れ親しんだ校庭を市バスが走る！」ということで、児童たちは大興奮の様子で乗車します。

講座の最後に、復習を兼ねたクイズを行います。児童たちは大きな声で答え、市バスに対する知識や親しみが深まったのではないかと感じさせてくれます。

後日、担任の先生に向けたアンケートでは、「実際に運賃を入れる体験ができてよかった」「子ども達が体験を通して、バスについて楽しく学習することができた」等の意見が寄せられ講座に手ごたえを感じています。

出前講座やイベントへの出展を通じて、住民の方とコミュニケーションを取りつつバスの乗客数増を図ることは交通事業者の社会的責任を果たすことにつながると捉え、今後も活動を継続していきたいと考えています。